

平成29年6月17日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(61回公演)報告
29.6.15 特別養護老人ホーム オルトビオス児玉

昨日は熊谷生協病院での1日2回の公演を経験しました。世の中には一日一日を精一杯生きている人がいるのだと改めて考えさせられた貴重な経験でした。

少し疲れも取れ、今日の公演先は昨年8月に一度伺い2回目です。午後1時20分現地集合でしたが、村田と舛田さんは児玉市街地で道に迷い、1時30分過ぎにやっと到着しました。他の3人は既に到着し、用意された控室で着替えをしていました。

開演の2時前には既に50人を越える職員、デイサービス利用者の方と特養利用に方々が大きな会場に待っていて、会場に入ると大きな拍手で迎えられました。

今日の公演では60分の時間をいただき、皆さんとゆっくり交流ができそうです。

初めに担当者の方から我々の紹介をしてもらい、舛田さん担当で「南京玉すだれ」の演技が始まりました。この施設の方々は皆さん元気で、最初から大きな手拍子を戴きながら演技が進んでいきました。次に改めて各人の自己紹介をしたのち、「何にみえますか。」と問うコーナーで、それぞれ得意技を披露した時にも、彼方此方から元気な声が帰ってきました。「きよしのズンドコ節」に続き、「玉すだれ」の体験コーナーでは一人一人手に取って触れてもらい、大きく開いた「すだれ」を持ち写真に収まっていた。

「サザエさん体操」では職員の方々が積極的に参加をしてくれ、曲が終わると手と手でハイタッチするほどの会場が盛り上がりで、全員ニコニコ顔になりました。

最後は「東京五輪音頭」です。この頃になると、会場全体に一体感が生まれ我々の目指している情景になっていきました。皆さんの代表の方から「大変楽しませて戴きました。また是非おいで下さい。」という丁寧なお礼の言葉を戴き、再会を約束し会場を後にしました。



